

令和4年度 日南市立大堂津小学校 自己評価書



【学校経営ビジョン】

- ① 児童の健康・安全を第一とし、全職員が本校の教育目標を理解し、英知と創意工夫によってその具現化を図る。
- ② 児童理解のために、全教職員がコミュニケーション(報告・連絡・相談)を円滑にし、協働の意識と意欲をもち、「チーム学校」として、組織的に教育活動に取り組む。
- ③ 児童や家庭・地域の実態に即し、保護者や地域の期待に応える教育活動に取り組む。
- ④ 今後の教育の動向を見据え、組織力を発揮して児童に生きる力を育むとともに、全職員相互の資質向上に努める。

項目	達成手段	対象	内 容 【 評価 4よい 3だいたい 2もう少し 1よくない 】	評価	総合評価	考察及び改善策	学校運営協議会委員の意見
確かな学力の定着と向上	基礎的・基本的な学力の定着とICTの活用を図った授業の推進	職員	職員は、授業で「めあてとまとめ」を明確にしたり、タブレットを効果的に活用したりして、分かりやすい授業実践に努めている。	3.7	3.6	授業の共通課題を明確にし、授業公開等を通して実践的に授業力向上に努めた。欠席児童の授業保障や他校との交流学习などでICTを効果的に活用できた。今後も授業実践やICTでの交流学习等の質的向上を組織的に図り、授業の充実に努める。	○交流学习や欠席時の学習保障などICTを効果的に活用している。今後も多様な学びと学力向上に向け授業充実に努めてほしい。
		児童	めあてやまとめを大事にしたり、タブレットを使って考えたりまとめたりして、学習に進んで取り組むことができた。	3.6			
		保護者	学校は、授業で「めあてとまとめ」を明確にしたり、タブレットを効果的に活用したりして、分かりやすい授業実践に努めている。	3.6			
	個に応じた指導の充実と学力調査結果等の活用	職員	職員は、全国学力調査やみやざき学力調査、CRT検査など諸調査を活かした授業や学力向上タイム、宿題や取出し指導など個に応じた指導に努めている。	3.6	3.6	全国学力調査(学)の結果・問題・授業分析を活かした授業の工夫・改善に努めた。その際、学テの類似問題の自作や問題集を活用し、設問に慣れる工夫をしている。今後は、自ら目標を立て主体的に学テに挑むような意欲・態度の向上にも努める。	○意欲や目標に着目することで子どももより学習について意識することが期待できる。
		児童	学力調査の問題を活かした学習をしたり、テストのやり直しをしたり、分からないことは教えてもらったりして、学習内容を理解することができた。	3.6			
		保護者	学校は、全国学力調査やみやざき学力調査、CRT検査など諸調査を活かした授業や学力向上タイム、宿題や取出し指導など個に応じた指導に努めている。	3.5			
	通常の学級における特別支援教育の充実	職員	職員は、特別支援教育を重視し、SCや学習・生活支援員などと連携して支援したり、保護者の要望や相談に応じたりして学習の最適化に努めている。	3.4	3.5	保護者の理解と連携のもと、学習・生活支援員の効果的配置や児童の実態に応じた学習の場を工夫し、個に応じた指導・支援体制の工夫に努めた。今後は、保護者の要望や相談に丁寧に対応し、児童の学びの最適化に努める。	○個に応じた指導や支援体制の工夫改善は、子どもが安心して学ぶ環境づくりに極めて重要である。
		児童	学習や活動で困ったときは、先生方や仲間、助けてもらったり教えてもらったりして、安心して学習や活動に取り組むことができた。	3.6			
		保護者	学校は、特別支援教育を重視し、SCや学習・生活支援員などと連携して支援したり、保護者の要望や相談に応じたりして学習の最適化に努めている。	3.5			
	学校におけるチーム力の向上	職員	職員は、一部教科担任制やチーム・ティーチングなどの指導体制を工夫し、子どもの能力を多面的に評価することに努めている。	3.7	3.7	一部教科担任制で一教師が担う教科指導を充実するとともに、児童を多面的に評価し合う体制が定着してきた。今後は、より子どもも職員も安心して学ぶことができるよう職員間の連携や学習規律の充実に努めていく。	○複式のよさを踏まえつつ、教科により複式を解消する工夫がなされ、学習の充実に努めている。
		児童	教科によって担任以外の先生と学習したり、2人や3人の先生と学習したりして、多くの先生たちとふれ合い、学びを広げることができた。	3.8			
		保護者	学校は、一部教科担任制やチーム・ティーチングなどの指導体制を工夫し、子どもの能力を多面的に評価することに努めている。	3.5			

心の教育の充実	生徒指導の三機能を生かした学級経営の充実	職員	職員は、学習や生活規範の定着とともに、目標とその過程を大事にして変容やよさを認め励まし、自己肯定感や所属感を育む学級経営に努めている。	3.7	3.5	随時、児童が設定する目標とその過程での励ましや変容を認める言葉かけに努めるよう教師間の情報交換や連携を大切に。今後もいつでも貴く学習や生活規律を徹底し、子どもも教師も安心して学ぶ生活環境を整えていく。	○人格形成において教育の果たす役割は大きい。それを支える上でも、今後も保護者や地域との連携充実をお願いする。
		児童	学習や生活の決まりを守ったり、目標をもってがんばったり、仲間と協力したりして、自分や仲間の成長に気づいたり認めたりすることができた。	3.4			
		保護者	学校は、学習や生活規範の定着とともに、目標とその過程を大事にして変容やよさを認め励まし、自己肯定感や所属感を育む学級経営に努めている。	3.5			
	基本的な生活習慣・態度の育成	職員	職員は、SNSや交通、公園等の公共の場でのモラルについて、授業や通信、常時指導を通して、人権感覚や社会性を育む指導に努めている。	3.6	3.6	SNS等の社会的課題を重視し、警察など関係機関との連携や親子学習の充実に努めた。今後は小学生の携帯電話の所持率やSNSの利用が増加していることを踏まえ、より一層保護者と危機意識を共有した指導を工夫する。	○痛みを疑似体験などを通して体感することで、抑止力に繋がる。そのような視点での学習の工夫にも努めるとよい。
		児童	SNS等での誹謗中傷は人権侵害であることや公園など学校外でもきまりを守る大切さを学習や失敗、ふりかえりなどを通して理解することができた。	3.8			
		保護者	学校は、SNSや交通、公園等の公共の場でのモラルについて、授業や通信、常時指導を通して、人権感覚や社会性を育む指導に努めている。	3.5			
	暖かい人間関係の構築・教育相談の充実	職員	職員は、道徳を柱に、全授業や運動会などの行事、委員会やクラブ活動などを通して、思いやりや命を大切にする指導に努めている。	3.6	3.6	運動会や委員会、クラブ活動では、児童の主体性や協力的な態度を重視した指導を行い、達成感や思いやりの心を育む活動ができた。今後も一つ一つの活動を心を育む好機と捉え、見届けや励ましを行い、自己肯定感や有用感を育むようにする。	○運動会でも子どもたちの頑張りが光っていた。今後も持久走記録会などいろいろな子どもたちの活躍を応援していきたい。
		児童	行事や学習、係活動、清掃、給食当番などを通して、仲間と助け合ったり、思いやりのある行動をしたりして、充実した学校生活を送ることができた。	3.6			
		保護者	学校は、道徳を柱に、全授業や運動会などの行事、委員会やクラブ活動などを通して、思いやりや命を大切にする指導に努めている。	3.5			
	チームの機能を生かした生徒指導体制の充実	職員	職員は、教育相談や家庭との連携を重視し、いじめや悩み等の諸課題へ誠意ある対応をし、当事者に寄り添う指導に努めている。	3.7	3.6	いじめや不登校等に関するアンケートや教育相談での諸課題では、当事者のケアを重視し、迅速・丁寧な対応に心がけた。児童の悩みの根底にあるものは複雑なことも多く、今後も保護者や専門機関との連携を図り丁寧に対応していく。	○思いやりや本当のやさしさ、愛や命の大切さについての指導をこれからも積み重ね、人間関係づくりを充実していただきたい。
		児童	悩んだり困ったりした時は、先生やお家の人に相談したり、一緒に解決したり、仲間と話し合ったりして、よりよい学校生活をみんなで考えることができた。	3.5			
		保護者	学校は、教育相談や家庭との連携を重視し、いじめや悩み等の諸課題へ誠意ある対応をし、当事者に寄り添う指導に努めている。	3.5			

健康の維持増進及び体力向上	体力向上プランの推進	職員	職員は、水泳や陸上運動などの体育や睡眠・食事・運動の大切さを理解する学習、外遊びの奨励などを通して、体力の向上に努めている。	3.4	3.5	体力テスト結果がやや下降気味である。コロナ禍での制限が一因と考えられる。対策緩和に伴い昼休みの戸外遊びも推奨でき、運動場に活気が戻ってきた。今後は体育科学習の充実と戸外での遊びをさらに活性化させ体力向上に努める。	○健康な体があってこそその学びの充実である。外遊びの推奨とともに、体操など毎日続けられる取組で習慣化することも大切である。
		児童	体育で一生懸命運動したり、睡眠・食事・運動の大切さを学習したり、外で元気に遊んだりして、健康な体になるようにした。	3.6			
		保護者	学校は、水泳や陸上運動などの体育や睡眠・食事・運動の大切さを理解する学習、外遊びの奨励などを通して、体力の向上に努めている。	3.5			
	安全指導の充実	職員	職員は、防災参観日や避難訓練、新型コロナウイルス感染防止対策、安全点検などを通して、危機や安全の管理及び改善に努めている。	3.8	3.7	親子防災学習や避難訓練、地域と連携した見守り活動などを通して、防災や安全意識を高めた。また、不審者対応などを模擬訓練し職員の危機対応能力の向上に努めた。今後は、防災ヘルメットを整え、地域と連携した防災・安全活動を工夫する。	○防災ヘルメットや不審者対策など危機意識を家庭と地域と共有することは、安全な学校生活のためにも今後も重視する。
		児童	避難訓練や防災学習、新型コロナウイルス感染防止対策などを通して、避難の仕方やマスク着用などの命を守る行動を身に付けることができた。	3.7			
		保護者	学校は、防災参観日や避難訓練、新型コロナウイルス感染防止対策、安全点検などを通して、危機や安全の管理及び改善に努めている。	3.7			
	健康教育・食育の推進	職員	職員は、生活習慣について保健便りの発信や個人面談をしたり、食に関する授業や弁当の日に取り組んだりして、健康と食育の推進に努めている。	3.8	3.7	生活習慣に関する面談を実施し、学校と家庭と同じ方向性で改善に取り組んだ。外部講師による食に関する学習や弁当の日、給食週間を通して、食への関心や大切さを学ぶようにした。今後も保護者、地域と連携し食育を推進する。	○食に関する指導やレインボープランなどで行う命の大切さや人権感覚を磨く学習は、今日とても重要である。継続や発信、その充実に今後も取り組んでほしい。
		児童	歯の健康や体の成長、食に関する学習をしたり、弁当の日に取り組んだりして、健康や食べることの大切さについて学ぶことができた。	3.7			
		保護者	学校は、生活習慣について保健便りの発信や個人面談をしたり、食に関する授業や弁当の日に取り組んだりして、健康と食育の推進に努めている	3.7			
	「レインボープラン」の充実	職員	職員は、児童の実態に基づいてレインボープランの実践に取り組み、自他を大切にす心情と態度の醸成に努めている。	3.8	3.7	レインボープランに計画的に取り組み、参観日や通信で保護者への周知を行った。今後もレインボープランを中心としながら全教育活動で意識的に命の大切さや人権感覚を磨き続けていくことが重要である。	○食に関する指導やレインボープランなどで行う命の大切さや人権感覚を磨く学習は、今日とても重要である。継続や発信、その充実に今後も取り組んでほしい。
		児童	レインボープランで、性や命に関する学習をすることを通して、自分や他の人を大切にす気持ちを高めることができた。	3.7			
		保護者	学校は、児童の実態に基づいてレインボープラン（性に関する教育）の実践に取り組み、自他を大切にす心情と態度の醸成に努めている。	3.5			

学校運営の充実及び日南市教育施策の確実な実践	細田地区4校連携推進	職員	職員は、地域や保護者・児童・職員による学校評価の結果を反映させたり、細田地区4校で連携したりして、学校運営の工夫改善に努めている。	3.5	3.6	昨年度の学校評価を学校運営に反映させ、教育活動に取り組んだ。また4校での共通実践や合同学習など細田地区の教育活動の充実に努めた。今後も保護者や地域の声に耳を傾け、成果や課題を明確にして細田地区の教育力の向上に努める。	○細田地区4校での縦や横の繋がりを大切にすることで、学校と地域との結びつきも確かになる。
		児童	わたしたちが安心安全に過ごせるように、先生や保護者、地域の方々は、協力し合って、わたしたちの活動を見守ったり、支援したりしている。	3.8			
		保護者	学校は、学校運営について、地域や保護者・児童・職員による学校評価の結果を反映したり細田地区4校で連携したりして、工夫改善に努めている。	3.4			
	学校からの情報発信と地域や保護者からの情報収集	職員	職員は、HPや学校便り、学級通信等を発行したり、適時保護者に安心メール等で連絡をしたりして、情報発信や教育活動の理解と共有に努めている。	3.8	3.7	学校便りやHPで学校の様子をタイムリーに発信した。また、PTA新聞を安心メールで見られるようにした。これは財源確保にもつながった。今後も通信等や参観日、保護者との連携を充実させ学びの見える化に努め、地域とともにある学校をめざす。	○学校便りや授業参観などで学校の様子や取組がよく分かる。また新聞やテレビでの情報発信により地域も元気になる。
		児童	学校便りや学級通信、保健便り、はまっこ通信などをお家の人に渡したり、お家の人と学校の様子について話したりしている。	3.5			
		保護者	学校は、HPや学校便り、学級通信等を発行したり、適時保護者に安心メール等で連絡をしたりして、情報発信や教育活動の理解と共有に努めている。	3.7			
	学校支援地域本部事業の推進及び学校運営協議会の充実	職員	職員は、学校運営協議会を軸に、地域人材を活用した授業やPTAや青少協などの関係機関と連携した活動など、地域と共にある学校を展開している。	3.5	3.5	学校運営協議会での提案や課題を大切に、学校運営の工夫改善や地域との連携推進に生かすようにしている。今後は、特に地域人材、素材を活かした学習をより工夫充実させ、地域とともにある学校をめざす。	○地域の素材を活かした学習によく取り組んでいる。次年度の九州大会での発表では、大堂津のよさをぜひ発信してきてほしい。
		児童	生活科や総合的な学習の時間などで、地域の人や様子、産業などを調べたり、浜や公園の清掃をしたりして、地域のことを学ぶことができた。	3.6			
		保護者	学校は、学校運営協議会を軸に、地域人材等を活用した授業やPTA、青少協などの関係機関と連携した活動など、地域とともにある学校を展開している。	3.5			
	働き方改革の推進	職員	職員は、学校における働き方改革として、登校時刻や電話対応時間などについて地域に周知し理解を求め、その実践に努めている。	3.6	3.5	登校時刻や電話対応時間等について、保護者や地域のご理解により、職員の働き方の工夫改善につながっている。今後も働き方改革の目的は、児童と向き合う時間の確保と教育の質の向上であることへの理解と協力を得る。	○コロナ禍の対応が変化する。職員と地域とのかかわり方についても働き方改革も踏まえながら工夫改善していけるとよい。
		児童	登校する時は、7時20分から学校に入れることを知っている。	3.5			
		保護者	学校は、学校における働き方改革として、登校時刻や電話対応時間などについて、地域に周知し理解を求め、その実践に努めている。	3.5			